

No. 75 >>> Contents

「カイコを育てよう！ 2022」に取り組んで

ー全国蚕糸関係博物館横断キャンペーンー

・・・・・・・・・・・・・・・・・・一般財団法人大日本蚕糸会———— ①

●トピックス

「カイコを育てよう！ 2022 キャンペーン」に参加して

・・・・・・・・・・・・・・・・・・シルク博物館 館長 慶徳俊哉———— ②

オーガニックシルクの規格・基準の作成について

・・・・・・・・・・・・・・・・・・全国シルクビジネス協議会———— ④

●研究・技術情報

新シルクデニット糸に関する研究開発と技術支援について

・・・・・・・・福島県ハイテクプラザ 繊維・高分子科 専門研究員 東瀬 慎———— ⑥

●海外情報

ケニアの最新蚕糸事情 ～日本の技術がいっぱいのケニア蚕糸研究センターを拠点に展開～

・農研機構 生物機能利用研究部門 絹糸昆虫高度利用研究領域 新素材開発グループ

元 SATREPS ケニア養蚕プロジェクト業務調整員 高橋 勉

元 SATREPS ケニア養蚕プロジェクト研究代表者 / チーフアドバイザー 亀田 恒徳———— ⑩

●蚕糸偉人の足跡を訪ねる

第2回「片倉兼太郎」

・・・・・・・・岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー 館長 高林千幸———— ⑫

●イベント情報

●一般財団法人大日本蚕糸会から

2022 年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ————— ⑳

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 ————— ㉓

活動日誌 ————— ㉔

●蚕糸絹関係博物館一覧

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）

「カイコを育てよう！2022」に取り組んで

ー全国蚕糸関係博物館横断キャンペーンー

一般財団法人大日本蚕糸会

各地の博物館では、地域の特色を活かした博物館展示、催事が行われています。特に夏休みを中心に「カイコの飼育体験」が開催されてきました。こうした活動を統一的、横断的に紹介し、蚕糸業の現状を知ってもらうとともにこれからの蚕糸業を考えようと「全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン」を実施しましたので、その概要について報告します。

今回参加した機関は、以下の6施設でした。令和4年度の展示企画は、決定済みのところが多く、一定期間内の催事を一つのポスター・チラシで広報活動を行うこととしました。また、グッズとして参加機関のキャラクター6体の集合シールを作成し、参加者に配布しました。参加対象者は約5,500名で、感想付きのプレゼント応募者も多く、抽選の上商品発送を行いました。

博物館のあるところは蚕糸に関する関心が高いと思いますが、ジャパンシルクセンターでも予約をお断りする程でした。課題も多くありますが、今後に繋がるものと期待しています。



参加施設（博物館）・行事名

参加施設名	参加行事名
群馬県立日本絹の里	学ぼうカイコ
シルク博物館	夏の個人向け蚕種配布
駒ヶ根シルクミュージアム	チャレンジ！カイコで夏休みの自由研究
岡谷蚕糸博物館	夏・秋カイコ学習
ーシルクファクトおかやー	わくわくふれあいシルクサマーセミナー
西予市野村シルク博物館	カイコを育てよう！2022
ジャパンシルクセンター	カイコと友だちになろう！

「カイコを育てよう！ 2022 キャンペーン」に参加して

シルク博物館

館長 慶徳俊哉

1 当館について

シルク博物館は、1959（昭和34）年3月、横浜開港百年記念事業として、神奈川県・横浜市・関係業界の協力により、開港当初に英国商社ジャーディン・マセソン商会（通称「英一番館」）のあった由緒ある場所に開館しました。

当館では、生きたカイコから製糸・染織など、絹ができるまでの過程をはじめ、古代から現代に至るまでの日本の服飾の移り変わりや、アジアを中心とした世界の民族衣装、人間国宝作家の着物など、優れた絹の工芸品の数々を展示しています。

2 当館の蚕種配布事業について

当館の主要事業の一つである教育普及事業では、カイコについて小学生のみなさんの興味や関心を引出し、その後の学習へとつなげることを目的とし、年間を通してカイコに関する普及事業を「チャレンジ！かいこプログラム」と名付け、次のような事業を推進しています。

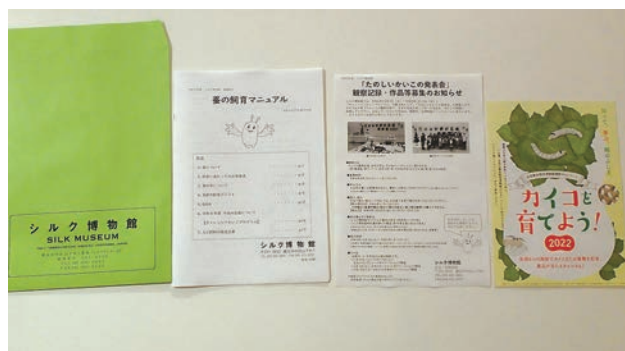
第1弾 蚕種配布

配布日：（学校対象）5月12日～14日

（個人対象）7月22日～24日

第2弾 かいこ教室

会 期：7月30日～8月14日



配布資料

第3弾 小中学校対象の団体見学

実施日：通年

ワークショップ

実施日：毎月いずれかの土曜日

第4弾 たのしいかいこの発表会

会 期：12月3日～1月15日

さて、今回、「カイコを育てよう！ 2022 キャンペーン」のお話をいただいた際、当初学校向けの蚕種配布を対象事業として考えていましたが、残念ながら実施時期が合わないため断念し、『夏の個人向け蚕種配布』をキャンペーン対象事業として実施したところ昨年31件（32セット）だった配布件数が48件（48セット）に増え配布することができました。

3 『夏の個人向け蚕種配布』について

今回のキャンペーンに参加した事業の概要は次のとおりです。

【申込受付期間及び申込方法】

令和4年6月10日～24日の間に、
電話にて事前予約

【配布日】

令和4年7月22日～24日（掃立日：
7月26日）

【金 額】

1セット（100粒まで）につき500円

【申込条件】

配布日に必ず直接来館して受領できる
こと。

購入者自身で桑葉の確保ができること。

4 「カイコを育てよう！2022キャンペーン」 に参加して

Web会議の運営をはじめ広報資料作成など、事務局の皆様には大変お世話になりました。特に、今回のキャンペーンにより、全国の蚕糸関係の博物館と連携できたことに、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

当館の場合、記者発表日から当館における蚕種配布申込締切日までの期間が短く、1週間もなかったことから、公式HP及びTwitterにより情報発信するとともに、館内でのポスター掲示とチラシの配布を行い

ました。特にHPでは、他の参加機関の情報も掲載し、それぞれ指定URLへのリンクを張らせていただきました。

また、当館の蚕種配布予約申し込みに間に合わなかった方には、ジャパンシルクセンターでの配布申込のご案内をさせていただきました。

次に、チラシ及びシールにつきましては、対象事業申込者全員に配布しても余ることから、ワークシート参加者及び6月25日に開催した子ども向けワークショップ「かいことシルクの勉強会」への参加者にも配布しました。子どもたちはシールを見て嬉しそうに満面の笑みを浮かべていました。

5 次回に向けて

カイコの飼育を体験することによって、絹の文化・歴史について少しでも多く知っていただく機会が生まれると思います。是非とも、多くの方に蚕糸関係の博物館等にご来館いただき、郷土のことや我が国の近代化に貢献した蚕糸絹業について、さらに各地の関連施設についても知っていただきたいと思いますので、今回のようなキャンペーンを続けていただくことを期待しています。



蚕種

オーガニックシルクの規格・基準の作成について

全国シルクビジネス協議会

【はじめに】

SDGs など地球環境問題に対する関心が高まる中で、食品だけでなく、様々な分野でオーガニック（有機）製品についての関心が高まってきています。繊維の分野においてもオーガニックコットンの需要が近年大きく伸びており、シルクについても EU において蚕の繭が有機生産の対象に追加されるなどその関心が高まってきています。

日本の養蚕業は、海外からの安い輸入品に押されて縮小してきていますが、有機飼育は比較的小ロットの生産に適していることから、国内産繭の新たな市場を開拓する可能性があるのではないかと考えています。

このため、全国シルクビジネス協議会では有機養蚕に取り組もうとする生産者と本物のオーガニックシルクを求める消費者を保護するため、農林水産省の支援を受けて専門家による検討会を設け、今秋を目途に「有機繭の生産と表示に関するガイドライン」の作成を進めています。また、養蚕農家等を対象としたガイドラインについての説明会も計画しています。

【有機繭生産のポイント】

「有機繭の生産と表示に関するガイドライン」は検討途中のため、流動的なところもありますが、有機繭の生産においては、以下の点がポイントとなります。

- ① GM カイコでないこと。
- ② 蚕は原則として有機農産物の基準を満たす方法で栽培された有機桑で飼育すること。
- ③ 蚕にストレスをできるだけ与えない環境で飼育すること。
- ④ 蚕室等の消毒にはホルマリン等の化学薬剤を使用しないこと。アルコールや逆性石鹼等限られた薬剤の使用は可能。
- ⑤ 飼育する蚕、餌となる桑、生産された繭は慣行飼育のものと混ざらないように分けて管理すること。
- ⑥ 飼育の記録をつけ、ホームページ等で公表すること。なお、ビジネス協議会では協議会のホームページ上にオーガニックシルクのサイトを設け、有機繭の生産に取り組む養蚕農家に公表のための場を提供することを計画しています。

これらのポイントについて少しだけ補足説明しますと、

②の有機の桑については、有機農産物の J A S 規格で定められている生産の基準を満たすことが必要ですので、3年間化学肥料や化学農薬を使用しないで栽培した桑ということになります。

従って、有機繭の生産に関心を持たれた養蚕農家等は、まず、所有する複数の桑園のうち1か所以上の桑園で有機桑の生産に取り組んでいただくことになります。（生産された有機桑は、3年間は他の桑園の桑と一緒に慣行飼育の蚕の餌として使用することになります。）

3年たって、栽培している有機桑が有機農産物の基準を満たす（有機桑を自分で使用するだけであれば第三者の認証を受ける必要はありません。）ことになれば、いよいよ有機繭の生産に取り組んでいただくことになります。

有機繭の生産に取り組んでいる3年の間に有機繭の購入を希望する需要者と価格や数量についての話し合いを行えば、安定した有機繭の生産に取り組むことができるようになります。

④の消毒に使用できる薬品については、E U の改定された有機の規則との整合性（オーガニックシルクとしてE U への輸出の可能性を考慮）を踏まえて、ホルマリンや次亜塩素酸を使用禁止薬剤としました。

ホルマリンや次亜塩素酸による消毒を行わないと心配という方もおられると思います。全国シルクビジネス協議会では有機繭のガイドラインに基づいた実証試験を群馬県蚕糸技術センターで行っており、その結

果も公表することにしておりますので、取り組みに当たっては参考にしてください。

⑥の飼育記録の公表については、本ガイドラインは生産者の負担を避けるため、第三者認証を求めないこととしています。このため、生産した有機繭について消費者等の信頼を得るためには、生産記録等の公表は不可欠と考えています。また、公表することによって、有機繭を求める実需者にどこで有機繭生産の取り組みが行われているかの情報を発信することになり、生産者と実需者とのマッチングの機会を提供することにも寄与すると考えています。

【終わりに】

日本の養蚕は、価格面と合わせてロットが小さいことが弱点となっていますが、自然との共生を基本とするオーガニックの世界は画一的な大規模生産とはどちらかという対極の位置になりますので、日本の養蚕業の現状に向いていると思われます。有機繭の取組みが国産繭の新たな需要の拡大につながることを期待しています。

新シルクデニット糸に関する研究開発と技術支援について

福島県ハイテクプラザ 繊維・高分子科

専門研究員 東瀬 慎

① 繊維企業を取り巻く状況

海外からの繊維製品の輸入率が急速に増加する中で、大口の OEM 主体の生産工場を除き、中小零細企業はこれまでの同質化、低コスト化で苦戦した OEM 生産から転換する動きが現れています。

オリジナルの原料と自社技術による差別化商品を、これまで構築した SNS 上のコアなファンに、定期的かつ丁寧に情報発信する BtoC、SPA（企画、製造、販売業）を目指す繊維企業が近年増加し、その成果が少しずつ見え始めています。

② 新シルクデニット糸の開発と技術支援

福島県ハイテクプラザでは、図 1 に示す従来のシルク加工糸をより軽量化、薄地化できる①新たなシルクデニット糸の製造方法（特開 2018-165413）を権利化し、②企業に取り組む繊維製品の高付加価値化、地域ブランド化の技術支援に取り組んでいます。

①新シルクデニット糸とは

図 2 上に示す従来技術のニット・デニット糸は、仮撚加工糸（ウーリー糸）よりもクリンプが大きくソフト感に優れ、糸に内在する残留トルク（撚り癖）がゼロであるため、ニット用加工糸として極めてソフトな風合いが期待できます。しかし、絹素材を使った従来技術のニット・デニット糸は、セット性が不良でわずかの張力によりクリンプが解放してしまうことから、デニット糸本来のかさ高性やソフト感が発揮できな

い欠点がありました。従来技術に対して図 2 下、図 3 に示す新シルクデニット糸は、下撚りした生糸をリリヤーンに編成、精練したのちに、デニットする糸内部にループ結節を保持することで、クリンプの解放とセット不良の問題を解決しています。これにより絹素材であっても伸縮性と嵩高性が保持できることを特長とします。



図 1 新シルクデニット糸（左：解編後、右：解編前）



従来技術



新技術

図 2 ニットデニット法
(従来技術と新技術イメージ)



図 3 シルクデニット糸の外観

②企業が取り組む繊維製品の高付加価値化と地域ブランド化とは

福島産地には江戸から昭和期に、独自に交配、育成された数多くの日本を代表する蚕種（明治 32 年には 244 品種）が生産された経緯があります。しかし、現在はかつてを代表する蚕品種は残存しておらず、歴史ある蚕糸絹業の文化が地域資源として上手く活用されていないのが現状です。

③ 貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成を受けて

一般財団法人大日本蚕糸会の貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成（平成 29-30）を受け、①同会蚕糸科学技術研究所（以下、「蚕糸研」という。）が保有する酸精練技術を導入し、②表 1 に示す福島ゆかりの原蚕種をベースとした新しい蚕品種の選定（一代交雑種）と、③選定蚕品種の物性評価に取り組みました。

①酸精練技術の導入

表 2 の精練加工を行った結果、図 4 及び図 5 に示すように、酸精練はアルカリ、酵素精練に対し白度に差は無いものの、破断強伸度に優位性があることが分かりました。また表 3 のマイクロ波加熱の条件下では、実用可能な精練率を 20% とすると、約 15min まで精練時間の短縮が可能です。

②福島ゆかりの蚕品種の選定

蚕糸研の全面的な協力を得て、昭和 24 年に農林省蚕糸試験場の中里延氏が福島で開発した蚕品種、支 122 号をベースに表 1 に示す支 122 号×日 122 号、支 122 号×青熟、支 122 号×小石丸の三品種の F1（一代交雑種）を選定し、現在主流の蚕品種（春嶺×鐘月）との物性評価を行いました。

③選定蚕品種の物性評価

③-1 精練率と収縮性

結果①：支 122 号×青熟は他蚕種に比べ、

表 1 福島ゆかり蚕品種の選定

品種	以下呼称	種別	生繭重 kg	生糸量 kg	糸歩
支 122 号×小石丸	小石	比較区	22.2	2.9	13%
支 122 号×青熟	青熟		25.7	3.4	13%
支 122 号×日 122 号	日支		25.8	4.3	17%
春嶺×鐘月	普通	対照区	15.7	2.8	18%

表 2 各種精練条件

	試薬	界面活性剤	浴比	精練温度	精練時間
アルカリ精練	炭酸ナトリウム(和光純薬工業株式会社)5%owf	スコアロール 700(北広ケミカル株式会社) 0.1g/L	1:50	90℃	0.5H
酸精練	クエン酸(和光純薬工業株式会社)30~100%owf		1:30 ~100	95℃	0.5~1.0H
酵素精練	キヌコン (洛東化成(株))6g/l		1:50	55℃	12H

表 3 マイクロ波加熱条件

装置名	(株) 松下電器産業製業務用電子レンジ(NE-1900S)
マイクロ波加熱装置	1900W

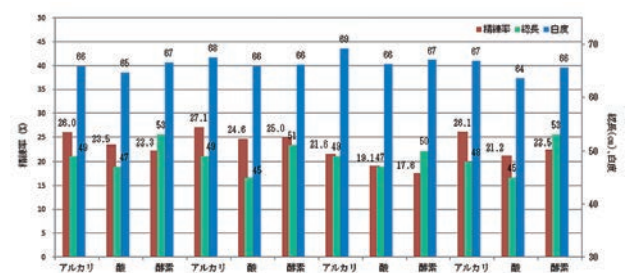


図 4 精練条件による精練率との違い

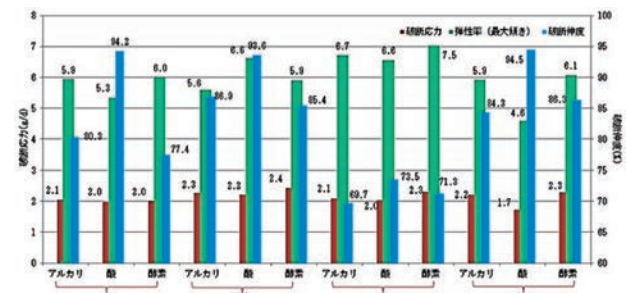


図 5 精練条件による破断強伸度の違い

アルカリ、酸、酵素すべての試薬に対し、低い精練率を示しました。これはフィブリンに隣接した難溶性セリシンの含有量が多いためと推測されます。

結果②：常圧の酸精練は、アルカリ精練法に比べ精練率が約 10% 低く、酵素法とほぼ同程度の精練率を示しました。

結果③：常圧の酸精練は、アルカリ及び酵素法に比べ精練後の糸の収縮（酸縮）が大きく、新シルクデニット糸の捲縮性の発現に有利な精練方法と考えられます。

③-2 圧縮特性

図 6 に蚕種別の新シルクデニット編地の

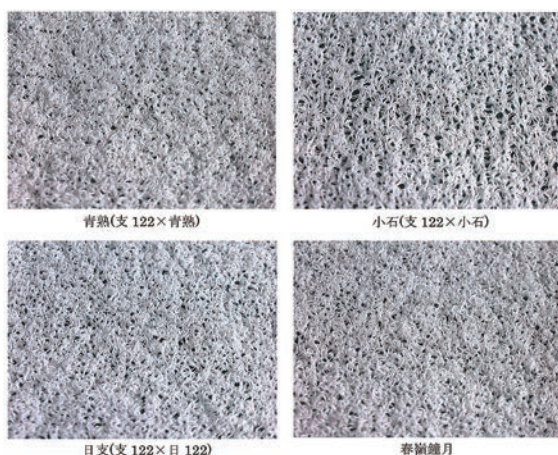


図6 新シルクデニット編地



図7 編地表面の違い（上：新シルクデニット糸、中：絹紡糸、下：練糸）

表面写真、また図7に従来素材の練糸及び絹紡糸と、新シルクデニット糸の編地表面写真を示す。

結果①：表4に示す編地厚TOを比較すると、編成条件（糸の太さ、度目、組織）を同一にした場合、生糸を新シルクデニット糸に加

表4 精練条件による精練率との違い

	LC	WC	RC	TO	TM	WC/TO	(TO-TM)/TO
青熟	0.415	1.293	50.470	1.971	0.709	0.656	0.640
普通	0.402	1.155	46.337	2.134	0.984	0.541	0.539
日支	0.412	1.128	45.490	2.101	1.004	0.537	0.522
小石	0.430	0.978	39.100	1.899	0.988	0.515	0.480
絹紡	0.391	0.566	47.657	1.103	0.493	0.513	0.553
練糸	0.416	0.514	49.413	1.050	0.491	0.490	0.532

LC:値が小さいほど編地の圧縮初期特性が柔らかい

WC:値が大きいほど編地にソフト感、嵩高性がある

RC:値が大きいほど荷重除去後の回復性が良い

TO:値が大きいほど編地に厚みがある

TM:値が大きいほど編地が潰れ難い

WC/TO:単位厚み当たりの圧縮仕事量、値が大きいほどソフト感、嵩高性に優れる

(TO-TM)/TO:単位厚み当たりの圧縮率、値が大きいほどふんわり感が高い

工した編地は練糸、絹紡糸の編地に比べ約2倍の編地厚を持つことが分かりました。

結果②：編地の弾力性を比較すると、新シルクデニット編地は他の編地に比べ潰れ難く、特に支122号×青熟は練糸、絹紡糸に比べ約3割良好な弾力性を示しました。

結果③：ソフト感、かさ高性、ふんわり感を比較すると、支122号×青熟が最も良好な値を示しました。

以上により選定蚕品種を原料とした新シルクデニット糸と編地を物性評価した結果、特に「青熟×支122号」が従来品種「春嶺×鐘月」に比べ、ソフト感、弾力性と嵩高性に優れることが分かりました。

④新シルクデニット編物の求評出品

新シルクデニット糸を活用し図8に示す横編地の求評出品を行いました。（Japan Textile Contest2020）



図8 新シルクデニット編地

本研究を進めるにあたり、蚕糸研及び（株）宮坂製糸所にご助言と技術協力を頂きましたことに感謝の意を表します。

④新シルクデニット織物の開発状況

新シルクデニット糸を布帛（織物用途）へ展開するため、令和2年度から新たな研究テーマに取り組んでいます。

①織物ならではの技術課題

ニット用に開発したデニット糸をそのま

ま織物用緯糸に使用した場合、緯糸に掛かる製織時の張力により、デニット糸が最大伸度まで伸び切った状態で固定化され、出来上がったデニット織物はソフト感も嵩高性にも乏しい織物となり、デニット糸本来の特長が発現されない課題があります。

②意匠撚糸による解決方法

織物用緯糸を作製する方法として、カバーリング加工による芯鞘構造に課題解決のヒントを見つけました。一般的にカバーリング加工とは、芯糸に鞘糸を一方向または双方向から巻き付けて一体化する糸加工の方法です。通常のカバーリング加工では、芯糸と鞘糸の巻き取り速度が同じであるため、側面から見た場合、鞘糸が芯糸に螺旋状に密着した状態となり、新シルクデニット糸の特長を活かすことができません。

そこで、芯糸（生糸）に鞘糸（デニット糸）を巻き付ける際、鞘糸が芯糸表面に密着しないように、鞘糸の送り速度を芯糸に対して約二倍程度オーバーフィードすることで、鞘糸がリングまたはループ形状を保持する図9に示す加工条件を見つけました。

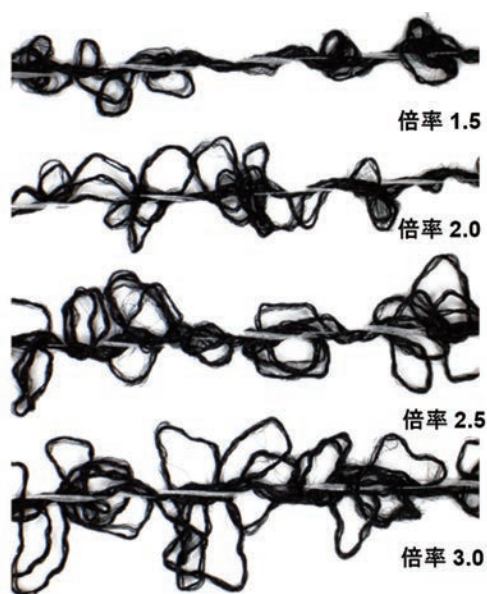


図9 鞘糸のオーバーフィード条件

この方法により作製した織物用緯糸は、芯糸の破断荷重または破断伸度を越えなければ、鞘糸のデニット糸は常に無荷重に近い状態を保つことができるため、新シルクデニット糸特有のソフト感と嵩高性を緯糸加工糸として適切に発現できると考えられます。

③新シルクデニット織物の求評出品

この緯糸加工糸を使った図10に示す新シルクデニット織物の求評出品を行いました。（Japan Textile Contest2021 入賞）

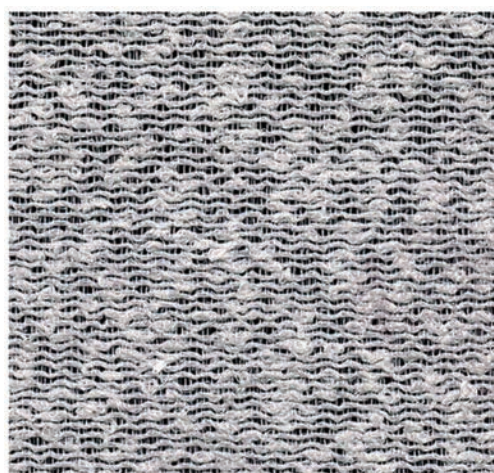


図10 新シルクデニット織物

⑤ 今後の技術課題と支援内容

これを機に繊維企業の新シルクデニット糸を使ったニット・織物製品の開発気運も少しずつ高まりつつあります。

今後は県内企業へ本技術の技術移転を着実に進め、ニット製品に限らず織物製品へも展開可能な加工糸の共通化（最適化）と製品化へ向けた技術支援に継続して取り組む予定です。併せて、選定した福島ゆかりの蚕品種の普及拡大を図るため、蚕糸研の技術協力を得ながら技術支援を進めたいと考えています。

参考文献

- 1) 東瀬, 中村, 長澤; 織機誌, 72, P658-662(2019).
- 2) 嵩高加工糸およびその製造方法 (特開 2005-33665)
- 3) ニットデニット糸の製造方法 (特開 2001-098433)

ケニアの最新蚕糸事情

～日本の技術が数々のケニア蚕糸研究センターを拠点に展開～

農研機構 生物機能利用研究部門

絹糸昆虫高度利用研究領域 新素材開発グループ

元 SATREPS ケニア養蚕プロジェクト業務調整員

高橋 勉

元 SATREPS ケニア養蚕プロジェクト研究代表者 / チーフアドバイザー

亀田 恒徳

ケニア養蚕の始まりと日本との繋がり

ケニアと聞くと最初に思い浮かべる景色は、サバンナを悠々と歩く動物たちという具合に、多くの日本人にとっては遠い国かも知れません。でも、ナイロビには日本人学校があり、正月の駅伝でケニア人選手が活躍するように、深いつながりもあります。養蚕の分野も関わりは深く、ケニアの近代養蚕は 1970 年代の日本による技術協力から始まったと説明されます。ところが、その後、中国をはじめとする新興工業国の興隆などもあり、残念ながら、ケニアの養蚕は本格的な産業へと成長することなく、細々と続いていました。

ケニア内外の養蚕への熱いまなざし

2020 年代と時代は進み、化学繊維が発達してもシルクの世界的需要は伸びていますが、シルクの生産国では人件費の上昇による脱養蚕が進み始めています。そんな中で、世界のシルク業界は、伸びしろの多いアフリカに注目しています。実際、最大生



写真1 ケニアに広がるサバンナの草原と動物
(ナイロビ国立公園)

産国の中国は、ケニア政府と共同してシルクの生産拠点を建設し、運営しています。一方、ケニア政府は、縫製のみに偏った繊維産業の現状から脱却し、工業化を推進するために繊維素材の国産化に力を入れています。これは、ウフル・ケニヤッタ大統領による「ケニアの4大課題（Four big agenda）」にも高らかに宣言されています。また、官ばかりではなく、複数の投資会社が養蚕事業への投資を始める動きも見られます。

日本の技術協力 SATREPS

こんな時代の到来を予見してか、ケニア政府は日本に再び養蚕分野の技術協力を打診しました。それを受けて、JICA（（独法）国際協力機構）と JST（（国研）科学技術振興機構）による SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協力）として「生物遺伝資源と分子遺伝学を利用した養蚕研究基盤構築プロジェクト」がコロナ禍による延長期間も含めて 2016 ～ 2021 年度に実施されました。実施機関は農研機構で、ケニア側のカウンターパート機関は、国立蚕糸研究センター（NSRC、National Sericulture Research Centre）です。このプロジェクトは、その名の通り、ケニアにおいて養蚕に対する研究能力の向上を図ったものですが、その技術移転の相手である NSRC はプロジェクトが開始する直前に設立されました。正確には、国立養蚕場（NSS、National Sericulture Station）からの組織的な格上げで、養蚕振興に対するケニア政府の本気度と日本の技術協力への期待の高さが分かります。



写真2 SATREPSに関わった農研機構とNSRCのメンバーによる毎週の定例ミーティングの様子。
著者の高橋（→）と亀田（→）も同席。

SATREPS がケニアに残したもの

SATREPS の活動内容は、4 種類に大別できます。それぞれ、ケニアの在来種を含む桑のジーンバンクの構築、現地に適した桑品種の選別と育種、現地に適した蚕の選別と育種、ケニア在来の野蚕シルクの活用です。こうした活動は、概ね、当初の目標を達成し、NSRC に研究基盤が構築されましたが、見える形で残ったものとして、新設した製糸実験棟と飼育実験棟があります。設置機材も日本側の専門家が選定し、研究レベルから実用レベルまでのカイコと野蚕の育種および生糸の生産ができるようになりました。これを扱う人材の育成は、専門家による現地での技術指導や短期の本邦研修ばかりではなく、他のスキームも駆使して、NSRC の若い研究者達に日本で博士や修士を取ってもらいました。とにかく、優秀な若者の流出は問題になりますが、今のところ全員が NSRC で活躍しており、ケニア蚕糸業の振興に貢献することが期待されます。彼らを中心に日本とパートナーシップを保ちながら、養蚕がケニアの主要産業に成長することを願っています。

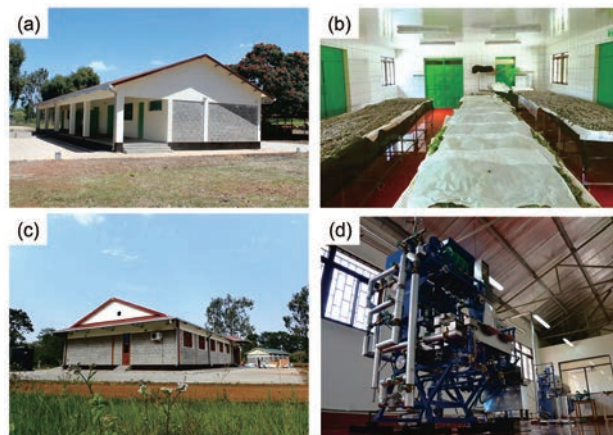


写真3 NSRC に新設した飼育実験棟の外観 (a) と内部飼育部屋 (b)、および製糸実験棟の外観 (c) と内部製糸機械 (d)。

第2回「片倉兼太郎」

岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや―

館長 高林千幸

はじめに

諏訪湖の水は、釜口水門から伊那谷を南下し、長い旅を経て太平洋へと流れていきます。この釜口水門が天竜川の始まりとなります。その下流の岡谷市川岸地区は、世界の製糸王と呼ばれた初代片倉兼太郎の生誕地で、日本の近代化を牽引した製糸業発祥の地といえましょう。

江戸時代末期の諏訪・岡谷地方は、一年の半分しか農業ができず、農閑余業として綿打ちや手びき製糸が行われていました。その生糸は「登せ糸^{のぼ}」として、主に京都方面の機業地へ取引されていきました。

安政6年（1859）、横浜開港によって生糸が貿易の主製品になると、この寒村が大製糸工業地帯へと変貌するのです。その中心的役割を演じたのが初代片倉兼太郎でした（写真1）。

天竜川河畔で産声を上げた小さな製糸工場の波紋が、次第に大きなうねりとなって全国へ広がっていきました。

1. わが国最大の製糸企業へ

初代兼太郎は、嘉永2年（1849）11月19日、諏訪郡川岸村（現岡谷市）で農業を営む父市助、母ひろ子の長男として出生、今でもその生家が残っています。父市助は、明治6年（1873）に10人の座繰り製糸を



写真1 初代片倉兼太郎（1849～1917）

始め、初代兼太郎、次男の光治、三男の五介（明治9年、平野村今井区の今井太郎の養嗣子となり今井五介となる）、四男の佐一（二代兼太郎）、従兄弟の片倉俊太郎、林利三郎、佐一の長男脩一（三代兼太郎）らの努力と積極経営により、わが国一の規模と生産量を誇る大製糸企業に発展するのです。

1) 垣外製絲場を創設

明治9年（1876）、父市助のあとを継いで家長になった初代兼太郎は、諏訪郡平野村（現岡谷市）の糸商であり技術者であった武居代次郎が開発した諏訪式繰糸機（座繰機^{ざそうき}）を取り入れ、明治11年6月に天竜川河畔に32人繰りの器械製糸「垣外製絲場^{かいと}」を創設。同時に従兄弟の片倉俊太郎は生糸を輸出販売する「深澤社^{みざわしゃ}」を同業

者とともに興しました。

2) 共同出荷組合「開明社」を設立

初代兼太郎は、共同出荷と販売などを目的とした結社として、明治12年（1879）7月に製糸有力者であった尾澤金左衛門・林倉太郎ら12名で「開明社」を設立。糸質の統一をはかり、原料繭の共同購入や資金の共同借入れ、生糸の共同販売などを行いました。そして、明治17年、300窓の共同揚返し場を新設、傘下工場の生糸を小枠に巻いたまま総て揚返し場へ持ち込み、ここで一手に揚返しを行いました。

その小枠から大枠へ揚返している途中で生糸を無作為に抽出して節や繊度などを検査し、その検査成績によって荷口を分別するという品質統制を図りました。このように踏み込んだ品質管理を行い、この方法はのちに全国へ広がっていきます。

開明社は、明治21年（1888）には長野県内一の規模の結社となり、明治24年には傘下工場22、従業員1,800人の規模に発展しました。岡谷から出荷される生糸は「信州上一番格」と呼ばれ、生糸品質の標準品となる基盤を築きました。

3) 松本片倉清水製絲場設立

川岸村では製糸工場が密集した状態となったので、長野県東筑摩郡松本町（現松本市）に3,000坪の土地を購入し、明治23年6月松本片倉清水製絲場を建設しました。岡谷出身の製糸会社としては諏訪郡外進出の初めての工場となりました。

その時、五介は米国へ遊学していましたが、父市助の病気の報を受けて急遽帰国し、同年9月に所長となり、従兄弟の片倉俊太郎が工場主任となって経営に当たりまし

た。その工場は当初諏訪式繰糸機48釜に過ぎませんでしたが、明治33年に346釜の大工場に発展しました。

4) 三全社の設立と片倉組の結成

明治27年に初代兼太郎は当時最大規模であった富岡製糸場（300釜）を上回る360釜規模の三全社を設立しました。垣外製絲場（160釜）、松本片倉清水製絲場（168釜）と合わせて688釜となり、全国一の製糸工場へと発展します。

翌明治28年には、片倉組が結成され、以降兼太郎は長野県内の製糸工場を買収・合併していくのでした。そして、明治31年、佐一は平野村の小口傳吉と共同で東京・千駄ヶ谷に32釜の工場を設け、これが県外進出の第1号となります。明治34年にはその工場を大宮に移転します。

2. 片倉兼太郎の逝去と片倉製絲紡績株式会社の設立

大正6年（1917）2月13日に初代兼太郎は、空前の製糸業好況と片倉発展のなか、68歳の生涯を閉じます。同年、弟の佐一は二代片倉兼太郎を襲名します。そして、第一次世界大戦後の大正9年3月、片倉組は全事業を株式組織に改組し、片倉製絲紡績株式会社として発足しました。

大正12年には、岡谷の6大製糸の一つの尾澤組を合併するなど、新設、買収、合併により大正末には、製糸工場数は1府24県58工場、朝鮮4ヶ所の62工場を擁する世界一の製糸企業へと発展しました。当時、片倉だけでわが国の生糸の生産高の約20パーセントを占めるに至り、その後片倉は生命保険会社や米穀肥料会社などを

設立し、多角経営に乗り出し一大財閥を形成していくのです。片倉製絲紡績株式会社は、昭和 18 年（1943）に片倉工業株式会社と社名を変更し、現在に至っています。

おわりに

初代兼太郎没後の大正 7 年（1918）4 月 7 日に、大日本蚕糸会よりわが国の製糸業の発展をリードした功績により恩賜賞を授与されました（図 1）。なお、その前の明治 36 年には第日本蚕糸会より蚕糸功績賞金杯賞、昭和 4 年（1929）には蚕糸功績賞第一種功績賞を受賞されています。

そして、その年に岡谷川岸の鶴峯公園に全国からの寄付金により片倉兼太郎翁の銅

像が建立されました（写真 2）。高さ 7 m の石製台座上の立像 3 m の初代兼太郎が、製糸業で栄えた川岸地区、岡谷方面を今でも見守っています。



写真 2 初代片倉兼太郎銅像
（戦時下銅像は供出され、平成 15 年（2003）に復元）

恩賜賞

長野縣諏訪郡川岸村

故正六位 片倉兼太郎

夙に本邦生絲の改良を要するものあるを認め歐式の製絲工場を創設し拮据精勵之が發達に努め又同志を糾合して開明社を組織し選まれて社長となり生絲品位の統一を圖り以て範を遠近に示し或は生絲取引所の弊害矯正に盡力し當業者の便宜に資せり又生絲同業組合聯合會の組織せらるゝや推されて組長となり銳意企画共同の利益を増進せるまこと 寔に尠少ならざるものあり殊に一門と共に經營せる片倉組の製絲業は漸次拡張して工場の所在一府十一縣に亘り釜数八千六百有餘一年の生絲製造額無慮三萬捆を算し盛名遠く海外に喧傳するに至る其蠶絲業上に貢獻せる功績洵に偉大なり仍て本會功績表彰規則に據り特に茲に恩賜賞を追贈し以て其功績を表彰す

大正七年四月七日

大日本蠶絲會總裁大勲位功二級 載仁親王

図 1 恩賜賞 故正六位 長野縣諏訪郡川岸村 片倉兼太郎 大日本蚕糸会報第 316 号

イベント情報

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各博物館では臨時閉館やイベントを中止している場合があります。詳細は各 WEB サイトなどでご確認下さい。

● ジャパンシルクセンター

多摩シルクライフ 21 研究会作品展

1995 年より東京多摩地域を中心に、東京産シルクの紹介とそれを支えるモノづくりの活動をしてきた「多摩シルクライフ 21 研究会」が、実演やワークショップの体験などを通して、一般消費者、訪日外国人などに広くシルクの素晴らしさを伝え、その作品の展示と販売を行います。

〈会期〉 10 月 19 日（水）～ 22 日（土） 10:00～18:00

10/19（水）は、13 時より。

10/22（土）は、16 時まで。

〈主催〉 宮坂製糸シルク工房の会 （多摩シルクライフ 21 研究会）

〈会場〉 ジャパンシルクセンター 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4

蚕糸会館 1 階

Tel: 03-3215-1212

<https://silk-center.or.jp>



●岡谷蚕糸博物館 企画展

「岡谷旅行案内 ～鳥瞰図で巡る糸都岡谷～」

大正の広重と呼ばれた鳥瞰図絵師吉田初三郎によって「岡谷市鳥瞰図」（昭和 11 年）が描かれました。世は観光ブーム。巧みな技法によって描き出された市施行年の岡谷のおすすめスポットとは？当時の写真や資料と共にお楽しみください。

〈会期〉 9 月 15 日（木）～12 月 20 日（火） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●日本絹の里 企画展

「平安王朝の文化 ～よみがえる源氏物語の世界～」

『源氏物語』にみえる平安時代の雅な王朝文化の世界を、立体的に表現した展示をご紹介します。1/4 サイズの寝殿模型による具現化展示のほか、美しい平安装束をはじめ、王朝文化を彩る料理や楽器など、平安貴族たちの宮廷生活をご覧ください。

〈会期〉 9 月 8 日（木）～11 月 7 日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「伊香保温泉 × キモノ ～#おかみさんのおもい～」

伊香保温泉の女将さん達とのコラボレーションにより、「和装のおもてなし」に焦点を当て、旅館従業員の装いやバラエティ豊かなお客様用の浴衣などを紹介し、多くの方を癒やし魅了する伊香保温泉の魅力に迫ります。

〈会期〉 11 月 12 日（土）～12 月 12 日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館 秋の特別展

横浜・生糸ものがたりⅢ 「横浜から世界へ -海を渡った生糸-」

本展では生糸貿易が行われた開港当初の町の姿や生糸取引の様子を紹介します。横浜と近代日本の発展を経済的に支えた生糸貿易の歴史を一覧し、蚕糸業に携わった人々のあゆみを振り返る機会となれば幸いです。

【連続講座】参加費 1,000 円（3 回分）

10 月 8 日（土）横浜開港資料館・横浜都市発展記念館 副館長 青木祐介氏

10 月 22 日（土）横浜開港資料館 館長 西川武臣氏

11 月 5 日（土）横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館 館長 上山和雄氏

【ギャラリートーク】

10 月 9 日（日）、23 日（日）、11 月 6 日（日） 各日ともに 14 時～

〈会期〉10 月 1 日（土）～11 月 13 日（日）（前期：10/1～10/23 後期：10/25～11/13）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉シルク博物館

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町 1 番地 2 階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>

●シルク博物館

冬休み企画 「たのしいかいこの発表会」

年間を通してかいこについて学ぶ「チャレンジ！かいこプログラム」の集大成として、学習の展示発表会を開催します。まゆや生糸を使った作品、観察記録など、学びの成果を発表します。

【子ども向けワークショップ】

11 月 26 日（土）生糸のランプシェード作り・クリスマスバージョン

12 月 3 日（土）まゆのオーナメント作り

12 月 10 日（土）まわたの天使作り

12 月 17 日（土）生糸のランプシェード作り・クリスマスバージョン

1 月 8 日（日）、9 日（月・祝）小さなシルクハンカチ染め体験

【シルキークリスマス】

12 月 18 日（日）終日入館無料日

午前：たのしいかいこの発表会表彰式、午後：クリスマスコンサートを開催します

〈会期〉12 月 3 日（土）～1 月 15 日（日）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、臨時休館 12 月 11 日（日）、

年末年始休館 12 月 28 日（水）～1 月 4 日（水）

〈主催〉シルク博物館

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町 1 番地 2 階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>

**●駒ヶ根シルクミュージアム 第 60 回特別展
「第 15 回現代手織物クラフト公募展」**

全国で独自の創作活動をしている織物のプロ、および将来プロを目指す方たちが創作した、独創的で優れた織物作品を展覧し、広く織物愛好家に向けて紹介するとともに、自立の道を拓く支援の場となることを目的に開催します。

〈会期〉10月20日（木）～11月27日（木）

休館日：水曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉現代手織物クラフト公募展 実行委員会

〈会場〉駒ヶ根シルクミュージアム 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地

Tel: 0265-82-8381

<https://komagane-silk.com>

E-mail: shiruku@cek.ne.jp

★イベント開催報告

岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや—

岡谷蚕糸博物館 企画展

「桑・クワ・くわ — 知られざる桑の世界 —」

会期：5月19日(木)～9月11日(日)

開催報告：

信州大学繊維学部、東京農工大学科学博物館、桑専門家小山朗夫先生にご協力いただき、「桑」に焦点を当てた企画展を開催いたしました。

歴史、サイエンス、文化の3つの観点から桑という植物を紹介。特に初公開の収蔵品である、「時代要求種」と名付けられたる桑の拓本は、葉の大きさもさることながら、時勢に応じた品種名も興味深い資料として展示いたしました。また小山朗夫先生の講演会では、桑の種と分布から、葉と実の食品利用、世界の国での多様な利用法など、まさに魅力いっぱいのお話をいただきました。私たちの身近にある桑をより楽しんでいただく機会となりました。

シルク博物館 夏休み企画 「かいこ教室」

会期：7月30日(土)～8月14日(日)

開催報告：

7月30日(土)から8月14日(日)まで開催した夏の小学生向け企画「かいこ教室」では、夏休みの親子連れを中心に多くの方にご来館いただきました。

小学校で蚕を飼育し「さらに詳しく知りたい」と感じた小学生や、夏休みの自由研究の題材として蚕について研究している小学生が数多く見受けられ、教室は連日盛況となりました。「まゆ人形作り」や「ランプシェード作り」では、小さな繭の硬さや繭から取れる糸の長さに驚きながら熱心に取り組む姿が見られ、子どもたちの興味関心の高さを窺うことができました。

群馬県立日本絹の里 夏休みこども展

「学ぼうカイコ～シルクの国語・算数・理科・社会～」

会期：7月16日(土)～8月29日(月)

開催報告：

本展では、蚕の生態や養蚕農家の仕事を紹介するとともに、「シルクの国語・算数・理科・社会」のコーナーを設け、蚕や絹が学校で習う科目のように、私たちの生活に密接に関わっていることを実感していただくため、図工・音楽なども含め、10個の科目に沿って関連資料を展示しました。

展示室中央では、約2,000頭の蚕が桑を食べる様子や、繭作りをする様子を観察していただき、「カイコクイズ」「桑くれ体験」など、参加型の行事なども通して、こどもから大人まで沢山の方に蚕や繭・絹の魅力を感じていただけたと考えています。

2022 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2022 年度第 2 次審査委員会を 2022 年 8 月 24 日(水)に開催しました。今回の申請は 6 者で、新規申請者 1 者 2 品目、使用許諾されている 5 者のうち製品の追加 1 者 3 品目、履歴の追加 3 者 4 品目、数量の追加 1 者 5 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、6 者 14 品目に対し、8 月 31 日(水)付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規) 玉城柳子 代表者名：玉城柳子 (担当者：玉城柳子) 〒 901-1204 沖縄県南城市大里字稲嶺 2127-168 TEL：090-3795-1253 表示者登録番号 246	先染反物 (着尺(首里織))	2 反	製品名 先染反物(首里織) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA あがつま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 織 自工房
	先染帯地(首里織)	2 本	製品名 先染帯地(首里織) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA あがつま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 織 自工房
(製品の追加) 織匠万勝 代表者名：前田章 (担当者：前田健) 〒 604-8267 京都市中京区姉小路通堀川東入る鍛冶町 173-1 TEL：075-257-5747 表示者登録番号 026	先染反物(着尺)	10 反	製品名 先染反物(着尺) 製作企画 Ken's Kimono 繭生産 JA 佐波伊勢崎・JA 赤城たちばな 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 色 北村善染工所 製 織 自社
	先染反物(着尺)	10 反	製品名 先染反物(着尺) 製作企画 Ken's Kimono 繭生産 JA 佐波伊勢崎・JA 赤城たちばな 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 色 岩崎染工 製 織 自社
	先染反物(着尺)	10 反	製品名 先染反物(着尺) 製作企画 Ken's Kimono 繭生産 JA 佐波伊勢崎・JA 赤城たちばな 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 色 岩崎染工 製 織 自社 販 売 OKANO

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴の追加) 長島繊維 (株) 代表者名：長島誠 (担当者：長島誠) 〒 326-0802 栃木県足利市旭町 852 番地 TEL：0284-41-7381 表示者登録番号 122	後染反物 (小紋・色無地) (紋意匠)	30 反	製品名 後染反物 (紋意匠) 蚕品種 春嶺×鐘月 繭生産 JA おやま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 田勇機業 (株) 染 色 自社
(履歴の追加) 渡豊工房 代表者名：渡辺豊一 (担当者：渡辺豊一) 〒 990-0301 山形県東村山郡山辺町大字山辺 892-1 TEL：023-664-5405 表示者登録番号 190	先染反物 (裏地) (紬綾八掛)	150 枚	製品名 先染反物 (裏地) 蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA おやま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 撚 糸 梅津撚糸工場 精練染色 佐米染色 (有) 製 織 自工房
	先染反物 (裏地) (紬駒八掛)	170 枚	製品名 先染反物 (裏地) 蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA おやま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 撚 糸 梅津撚糸工場 精練染色 佐米染色 (有) 製 織 自工房
(履歴の追加) (株) やしま 代表者名：中須賀賢一 (担当者：中須賀賢一) 〒 730-0042 広島県広島市中区国泰寺町 1-3-15 やしまビル TEL：082-543-2118 表示者登録番号 238	白生地 (表地) (紋意匠)	198 反	製品名 白生地 (表地) 蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA おやま・JA なす南・ JA なすの管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 (株) アシヨネ 精 練 丹後織物工業組合
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：大西隆寿) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物 (振袖 (五枚朱子))	35 反	製品名 後染反物 (振袖) 繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 篠春織物 (株) 染色加工 (株) 千總
	後染反物 (振袖 (五枚朱子))	64 反	製品名 後染反物 (振袖) 繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(続き)	後染反物 (振袖 (紋意匠))	8 反	製品名 後染反物 (振袖) 繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總
	後染反物 (振袖 (五枚朱子))	3 反	製品名 後染反物 (振袖) 繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 美雲織物 (株) 染色加工 (株) 千總
	後染反物 (振袖 (紋意匠))	4 反	製品名 後染反物 (振袖) 繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2022 年度第 3 次：2022 年 11 月 18 日 (金)

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2022 年 10 月 25 日 (火)

(連絡先)

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、小林、廣瀬

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3511

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

小林：kobaei@silk.or.jp

廣瀬：hirose_takato@silk.or.jp

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2022年8月31日（2022－第2次）現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物（振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服）、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物（色無地）、胴裏（灰汁浸け加工）
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物（色無地、黒紋付）
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物（色無地、黒紋付）
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物（色無地、黒紋付）
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物（色無地、黒紋付）
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物（作家作品）、後染帯地、先染反物（大島紬、結城紬、御召、作家作品）、先染帯地（織九寸帯、織角帯、作家作品）、白生地、和装小物（帯締、羽織紐）、八掛、胴裏
012	河瀬満織物（株）	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物（色無地、黒紋付）
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物（色無地）
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物（色無地、黒紋付）
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢（株）)	群馬県高崎市	裏地（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200、灰汁浸加工、トルマリン加工）、八掛、比翼地）、長襦袢地、後染反物（作家作品、紋付地）、白生地（世紀二一、上州絹星・ぐんま 200、新小石丸）、後染帯地（（冬物・夏物）：うるし糸が5%を超えるもの）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、和装小物（袱紗）
022	宮階織物（株）	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物（色無地、訪問着）、先染帯地（袋帯（草木染、唐織））
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物（有）	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地（袋帯、名古屋帯、袋帯：金銀糸が5%を超えるもの）、先染反物（御召類、着尺）、後染反物（色無地）
027	(有) 織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー、腹巻、手袋、靴下））
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物（江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖）、後染帯地、白生地（表地）
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物（色無地、黒紋付）
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、白生地（長襦袢地、胴裏）、ニット（靴下）、風呂敷
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榊屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品 (ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋組、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒組))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚げ)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)、白生地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井紋 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世さね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着、紋意匠))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚げ、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー (手織り)
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品 (ショール)
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、服飾品 (スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗)、ネクタイ、帯地 (白塩瀬)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)、服飾品 (ショール)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、服飾品 (ストール)
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 麿	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絰着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織、裏地 (紬八掛、駒八掛、紬駒八掛、紬綾八掛))、服飾品 (先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染))
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嗟が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品 (ストール)、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬、御召)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 (12 マルキ、15 マルキ))
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	服飾品 (ストール)
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大醐	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品 (ニットストール)
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五条袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))
242	(株) 前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品 (スカーフ、ストール)
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品 (真綿ふとん (国産近江真綿ふとん))
244	昭和西川 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (真綿ふとん)
245	大迫織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬)
246	玉城柳子	沖縄県南城市	先染反物 (着尺 (首里織))、先染帯地 (首里織)

月日	活 動 内 容 等
7/28	オーガニックシルク検討会 (全国シルクビジネス協議会の農林水産省補助事業関係、リアル・WEB 併用会議)
7/29	令和 4 年度全国シルクビジネス協議会通常総会 (WEB 会議)
8/24	純国産絹マーク審査会 (WEB 会議)
8/31	シルクの特性提供手法検討会 (全国シルクビジネス協議会の農林水産省補助事業関係、WEB 会議)
9/2	オーガニックシルク検討会 (全国シルクビジネス協議会の農林水産省補助事業関係、WEB 会議)
9/8	提携グループ支援事業説明会 (WEB 会議)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
野外博物館北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいてステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館“紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064
桑都日本遺産センター 八王子博物館	192-0904	東京都八王子市子安町 4-7-1 サザンスカイタワー 3 階	042-622-8939

名 称	〒	住 所	電 話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市緑区田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
相模原市立博物館	252-0221	神奈川県相模原市中央区高根 3-1-15	042-750-8030
海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」	243-0405	神奈川県海老名市国分南 1-6-36	046-233-4028
一般財団法人繊維産業会レインボープラザ(愛川繊維会館)	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 4410	046-281-0356
愛川町郷土資料館	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 5287 (県立あいかわ公園内)	046-280-1050
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館(織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房(織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号(上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ(株)内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館(松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財)手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884

名 称	〒	住 所	電 話
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ（株）周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502
アヤミハビル館	907-1801	沖縄県八重山郡与那国町与那国 2114	0980-87-2440

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一財) 大日本蚕糸会
(一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(一社) 日本絹人繊維物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<http://www.tanko.or.jp>
<http://www.nishijin.or.jp>
<http://www.taafs.or.jp>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougeihin.jp>
<http://takaraginu.com>

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 <http://www.naro.affrc.go.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 <http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html>
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫学研究室 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/departments/agri/life.html>
(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 <http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/>
(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室 <http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 <http://www.tuat.ac.jp/~kaiko>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科 <http://www.tuat.ac.jp/~seimei>
(国) 名古屋大学農学部 <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 信州大学繊維学部 <http://www.tex.shinshu-u.ac.jp>
(国) 京都工芸繊維大学工学部応用生物学課程 <http://www.bio.kit.ac.jp>
(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku>
(国) 九州大学大学院農学研究院遺伝子資源開発研究センター家蚕遺伝子開発分野 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sanshi/insect/top.html>
群馬県蚕糸技術センター <http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
群馬県繊維工業試験場 <http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html>
京都府繊維・機械金属振興センター <http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
(地独) 京都市産業技術研究所 <http://www.tc-kyoto.or.jp>
(公財) 衣笠繊維研究所 <http://krf-textile.com>
(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 <http://www.silk.or.jp>

【学 会】

日本シルク学会
(一社) 日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://jsst.sakura.ne.jp>
<http://jsss.or.jp>
<http://jswsmo.appspot.com>

【博物館】

(一財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp>
<http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum>

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム
織成館（京都市上京区）
高崎市染料植物園
群馬県立歴史博物館
岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）
はたや記念館ゆめおーれ勝山
美馬蚕糸館

<http://komagane-silk.com/>
<http://orinasukan.skr.jp>
<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/201401140097>
<http://grekisi.pref.gunma.jp>
<http://silkfact.jp>
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>
<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場
群馬県立世界遺産センター
ぐんま絹遺産
上毛新聞社関連記事

<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>
<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan>
http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	37
(2) 養蚕農家数の推移	38
(3) 繭生産数量の推移	39
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	40
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	41
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	42
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	43
(11) 製糸工場の原料繭需給	44
(12) 製糸工場の操業状況	45
(13) 生糸在庫数量の内訳	46
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	47
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	48
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	49
(18) 絹織物生産数量	50
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	51

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	53
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	54

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 Item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
2021	186	61	328	0.2	7	20	—	1,279
前年比(%) 2021/2020	81.6	76.3	93.47	100.0	87.5	64.5	—	105.4

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

- ・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
- ・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
- ・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織機物工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

- ・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)
- ・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)
- ・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit：number)

項 目 Item 暦 年 Calendar Year	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	205	129	188
2021	186	161	98	156
前年比(%) 2021/2020	81.6	78.5	76.0	83.0

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項目 Item 暦年 Calendar Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕
	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	348	150	144	156
2020	80	31	19	30	351	151	147	160
2021	61	22	15	24	328	137	153	154
前年比 (%) 2021/2020	76.3	71.0	78.9	80.0	93.5	90.4	103.9	96.4
2021年 構成比 (%)	100.0	36.1	24.6	39.3				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量 Production (A)	輸入数量 Imports (B)	輸出数量 Exports (C)	国内引渡数量 Domestic Deliveries (D)	期末在庫数量 Ending Stocks (E)	輸入数量 Imports (F)	輸出数量 Exports (G)	輸入数量 Imports (H)	輸出数量 Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2021	160	3,067	0	3,425	868	6,136	144	2,753	3,850
2020 - 1	20	549	0	588	1,410	1,178	15	341	275
2	23	124	0	166	1,391	303	41	139	378
3	19	682	0	750	1,342	962	37	262	398
4	23	—	0	134	1,231	662	15	233	307
5	16	280	0	242	1,285	854	10	244	223
6	14	209	0	146	1,362	422	3	169	227
7	15	24	0	97	1,304	283	11	256	268
8	11	55	0	100	1,270	249	4	121	239
9	9	73	0	151	1,201	308	4	214	333
10	16	101	0	142	1,176	215	7	181	346
11	15	63	0	149	1,105	305	11	247	333
12	22	283	0	344	1,066	487	9	146	308
2021 - 1	11	123	0	141	1,059	428	6	273	286
2	14	118	0	175	1,016	504	4	199	299
3	16	371	0	414	989	339	7	223	379
4	12	5	0	121	885	451	5	253	363
5	12	506	0	479	924	460	20	202	351
6	13	178	0	200	915	619	13	251	377
7	13	266	0	303	891	772	12	242	281
8	12	244	0	234	913	585	9	188	198
9	12	389	0	470	844	433	9	251	231
10	14	219	0	236	841	451	14	216	390
11	18	323	0	313	869	480	21	231	306
12	13	322	0	336	868	614	24	218	390
2022 - 1	12	379	0	436	823	588	2	264	233
2	8	222	0	199	854	484	32	162	316
3	19	541	0	481	933	667	33	178	348
4	15	—	1	159	788	412	30	214	355
5	13	500	0	476	825	857	7	256	326
6	15	426	0	313	953	703	7	256	355
7	12	291	0	333	923	893	19	227	330

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～） (B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

3. (D)と(E)は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～2012.11)、Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)
(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item 年 月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					
	計	18デニール以下	21デニール	27デニール	31デニール	その他
暦 年 Calendar Year	Total	17/19or 17/19 finer	20/22	26/28	30/32	Others
2015	378	0	146	86	36	110
2016	317	0	98	103	38	78
2017	339	0	107	95	53	84
2018	339	0	106	104	65	63
2019	269	1	102	46	30	90
2020	203	1	51	76	4	71
2021	160	0	39	52	10	59
2020 - 1	20	—	4	11	0	5
2	23	—	7	9	0	7
3	19	—	8	5	0	6
4	23	—	9	4	2	8
5	16	—	1	6	2	7
6	14	—	4	5	0	5
7	15	—	2	7	0	6
8	11	1	1	5	0	4
9	9	—	1	4	0	4
10	16	—	6	1	0	9
11	15	—	6	4	0	5
12	22	—	2	15	0	5
2021 - 1	11	—	6	0	0	5
2	14	—	4	3	0	7
3	16	—	5	6	0	5
4	12	—	6	2	0	4
5	12	—	2	5	0	5
6	13	—	1	8	0	4
7	13	—	2	5	0	6
8	12	—	3	5	0	4
9	12	—	1	7	2	2
10	14	—	1	5	2	6
11	18	—	3	5	3	7
12	13	—	5	1	3	4
2022 - 1	12	—	4	4	1	3
2	8	—	3	3	0	2
3	19	—	5	7	0	7
4	15	—	0	7	5	3
5	13	—	0	8	0	5
6	15	—	2	7	0	6
7	12	—	3	2	1	6

資料：農林水産省生産局（～2010. 3） 中央蚕糸協会（2010. 4～2018. 10） （一財）大日本蚕糸会（2018. 11～）

備考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2010. 3).

Central Raw Silk Association (2010. 4～2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11～)

Remarks: Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import						輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③		
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
2021	171	45	0	126	3	6	6	111	126	24	0	0	8	16	102	45
前年比 (%) 2021/ 2020	94	100	—	92	150	100	100	90	92	90	—	—	100	85	93	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2020		72	73	69
2021		55	57	67
2020	- 1	0	7	63
	2	0	8	55
	3	0	7	47
	4	1	8	40
	5	0	5	35
	6	14	5	44
	7	12	5	51
	8	13	5	59
	9	3	3	59
	10	24	6	77
	11	5	6	76
	12	1	8	69
2021	- 1	0	4	65
	2	0	4	60
	3	0	5	54
	4	0	4	50
	5	0	4	46
	6	14	5	55
	7	6	5	56
	8	10	5	61
	9	3	5	59
	10	19	5	73
	11	4	7	70
	12	1	4	67
2022	- 1	0	4	62
	2	1	3	60
	3	0	7	53
	4	0	5	48
	5	1	5	44
	6	10	5	49
	7	8	5	52

資料：農林水産省生産局（～2010. 3）中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010. 4～2012. 11）

中央蚕糸協会（2012. 12～2018. 10）（一財）大日本蚕糸会（2018. 11～）

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010. 3）.

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010. 4～2012. 11）.

Central Raw Silk Association（2012. 12～2018. 10）. The Dainippon Silk Foundation（2018. 11～）

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
2015		8	110	33	30	263	53
2016		8	110	29	26	267	55
2017		8	110	31	28	266	59
2018		8	74	34	46	253	57
2019		8	74	27	36	239	51
2020		8	74	23	31	218	48
2021		7	74	15	20	214	43
2020 -	1	7	74	32	43	19	50
	2	7	74	26	35	20	49
	3	7	74	27	36	22	49
	4	7	74	29	39	20	50
	5	7	74	27	36	15	50
	6	8	74	19	26	14	53
	7	8	74	17	23	22	52
	8	6	74	17	23	14	38
	9	6	74	15	20	19	37
	10	6	74	9	12	22	37
	11	7	74	27	36	14	48
	12	7	74	28	38	17	48
2021 -	1	6	74	16	22	14	38
	2	6	74	21	28	14	38
	3	6	74	21	28	18	35
	4	6	74	15	20	16	35
	5	6	74	13	18	15	35
	6	7	74	12	16	22	37
	7	7	74	12	16	22	37
	8	7	74	7	9	17	37
	9	7	74	12	16	18	43
	10	7	74	12	16	22	44
	11	7	74	18	24	17	43
	12	7	74	16	22	19	43
2022 -	1	6	74	10	14	15	35
	2	6	74	14	19	14	35
	3	6	74	17	23	23	35
	4	6	74	19	26	19	35
	5	6	74	16	22	17	34
	6	6	74	12	16	21	34
	7	6	74	13	18	22	36

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers
暦 年 Calendar Year					
	2015	1,410	94	1,316	
	2016	1,406	130	1,276	
	2017	1,747	156	1,591	
	2018	1,330	230	1,100	
	2019	1,429	238	1,191	
	2020	1,066	178	888	
	2021	868	170	698	
2020 -	1	1,410	196	1,214	
	2	1,391	178	1,213	
	3	1,342	178	1,164	
	4	1,231	186	1,045	
	5	1,285	194	1,091	
	6	1,362	181	1,181	
	7	1,304	181	1,123	
	8	1,270	180	1,090	
	9	1,201	170	1,031	
	10	1,176	166	1,010	
	11	1,105	168	937	
	12	1,066	178	888	
2021 -	1	1,059	182	877	
	2	1,016	183	833	
	3	989	189	800	
	4	885	183	702	
	5	924	186	738	
	6	915	186	729	
	7	891	184	707	
	8	913	185	728	
	9	844	182	662	
	10	841	174	667	
	11	869	175	694	
	12	868	170	698	
2022 -	1	823	163	660	
	2	854	160	694	
	3	933	163	770	
	4	788	160	628	
	5	825	155	670	
	6	953	146	807	
	7	923	131	792	

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

国名 Country	計 Total	中国 China	ブラジル Brazil	ベトナム Vietnam	タイ Thailand	その他 Others
年 月 Year & Month						
暦 年 Calendar Year						
2015	6,479 (58)	5,569 (49)	887 (9)	20	2	—
2016	6,546 (52)	5,378 (44)	1,142 (8)	24	2	—
2017	7,560 (68)	6,008 (62)	1,456 (5)	91	2	1
2018	5,038 (51)	3,484 (46)	1,446 (5)	50	59	—
2019	4,852 (67)	3,620 (51)	1,228 (13)	—	3 (3)	—
2020	2,443 (30)	1,294 (25)	1,145 (5)	—	—	4
2021	3,067 (31)	1,852 (25)	1,182 (5)	—	—	—
2020 - 1	549 (1)	333	216 (1)	—	—	—
2	124	5	119	—	—	—
3	682 (11)	408 (7)	274 (4)	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	280 (10)	62 (10)	218	—	—	—
6	209	125	84	—	—	—
7	24 (3)	19 (3)	5	—	—	—
8	55	32	23	—	—	—
9	73	13	60	—	—	—
10	101 (5)	65 (5)	36	—	—	—
11	63	63	—	—	—	—
12	283	168	111	—	—	4
2021 - 1	123	57	66	—	—	—
2	118	108	10	—	—	—
3	371 (5)	260	111 (5)	—	—	—
4	5	5	—	—	—	—
5	506 (10)	363 (10)	143	—	—	—
6	178 (5)	134 (5)	45	—	—	—
7	266	197	70	—	—	—
8	244	119	125	—	—	—
9	389	263	126	—	—	—
10	219 (5)	82 (5)	137	—	—	—
11	323 (5)	193 (5)	129	—	—	—
12	322	96	226	—	—	—
2022 - 1	379 (8)	253 (8)	115	—	11	—
2	222 (5)	122 (5)	100	—	—	—
3	541	372	169	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	500	374	126	—	—	—
6	426 (10)	225 (10)	202	—	—	—
7	291	260	30	—	—	—

資 料 : 財務省関税局

備考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位 : 60kg俵)
(Unit : Bales of 60kg)

国名 Country	計 Total	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
年 月 Year & Month							
暦 年 Calendar Year							
2015	14,051	7,928	5,586	4	0	531	2
2016	12,094	7,289	4,074	16	0	711	4
2017	14,560	8,431	5,256	10	0	862	0
2018	11,092	6,217	4,031	10	0	802	32
2019	10,920	6,658	3,489	16	—	757	1
2020	6,226	3,516	2,124	3	0	582	1
2021	6,136	3,472	2,217	2	0	442	3
2020 - 1	1,178	715	348	1	—	114	—
2	303	20	240	0	—	43	—
3	962	536	329	1	—	96	—
4	662	345	226	0	—	91	—
5	854	544	256	—	—	53	—
6	422	271	115	—	0	35	—
7	283	187	96	0	—	—	—
8	249	141	95	—	—	14	—
9	308	141	105	—	—	60	1
10	215	89	90	1	—	35	—
11	305	206	99	—	—	—	—
12	487	322	124	—	—	40	—
2021 - 1	428	227	145	—	—	55	—
2	504	308	196	1	—	—	—
3	339	241	73	—	0	26	—
4	451	298	153	—	—	—	—
5	460	226	144	—	—	90	—
6	619	437	172	0	—	10	—
7	772	311	461	—	—	—	—
8	585	401	113	0	—	71	—
9	433	207	195	—	—	30	0
10	451	231	188	1	—	30	0
11	480	318	134	—	—	25	3
12	614	266	243	—	—	105	—
2022 - 1	588	353	220	—	—	15	—
2	484	260	167	—	—	57	—
3	667	463	173	—	0	30	—
4	412	214	143	—	—	55	—
5	857	438	342	—	—	76	—
6	703	469	143	—	0	90	—
7	893	554	284	—	0	56	—

資料 : 財務省関税局

備考 : kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価
Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵、円/Kg
Unit: bale of 60kg, yen/kg

項 目 Item 年 月 Year & Month 暦 年 Calendar Year	輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
2015	5,520	6,803	879	8,199	7,928	6,908	531	9,261	5,586	7,283
2016	5,334	5,614	1,134	6,164	7,289	5,764	711	6,654	4,074	5,946
2017	5,946	6,574	1,451	6,517	8,431	6,762	862	7,381	5,256	6,627
2018	3,438	7,973	1,441	7,857	6,217	8,090	802	8,551	4,031	7,754
2019	3,569	6,561	1,215	7,067	6,658	6,426	757	7,703	3,489	6,782
2020	1,269	6,243	1,140	6,587	3,516	6,415	582	7,441	2,124	6,627
2021	1,852	7,096	1,183	6,390	3,472	7,177	442	7,154	2,217	6,676
2020 - 1	333	6,793	215	6,713	715	6,907	114	7,455	348	6,629
2	5	6,244	119	6,668	20	6,862	43	7,270	240	6,778
3	401	6,477	270	6,585	536	6,870	96	7,552	329	6,802
4	—	—	—	—	345	6,792	91	7,619	226	6,818
5	52	6,859	218	6,553	544	6,488	53	7,540	256	6,679
6	125	6,010	84	6,787	271	6,564	35	7,416	115	6,660
7	16	6,259	5	6,523	187	6,338	—	—	96	6,772
8	32	5,402	23	6,800	141	5,729	14	7,614	95	6,625
9	13	6,090	60	6,864	141	5,687	60	7,604	105	6,781
10	60	5,280	36	6,752	89	5,250	35	7,242	90	6,057
11	63	5,390	—	—	206	5,836	—	—	99	6,584
12	168	5,414	111	5,930	322	5,244	40	6,677	124	5,587
2021 - 1	57	5,431	66	5,894	227	5,546	55	6,763	145	6,045
2	108	5,577	10	4,033	308	5,835	—	—	196	5,911
3	260	5,940	106	5,691	241	6,259	25	6,392	73	5,826
4	5	6,397	—	—	298	6,330	—	—	153	5,845
5	353	6,519	143	5,982	226	6,488	90	6,817	144	5,918
6	129	7,127	45	6,258	437	7,156	10	6,827	172	6,630
7	197	7,345	70	5,968	311	7,354	—	—	461	6,567
8	119	7,962	125	6,079	401	7,456	71	6,982	113	7,099
9	263	8,155	126	6,168	207	8,408	30	7,096	195	6,973
10	77	7,150	137	6,783	231	8,145	30	7,546	188	7,387
11	188	8,174	129	6,863	318	8,316	25	7,597	134	8,041
12	96	8,390	226	7,167	266	8,736	105	7,773	243	7,395
2022 - 1	245	8,104	115	7,528	353	8,346	15	8,423	220	7,713
2	117	8,382	100	7,700	260	8,633	57	8,411	167	7,716
3	372	8,372	169	7,689	463	8,646	30	8,583	173	8,385
4	—	—	—	—	214	8,871	55	8,822	143	9,048
5	374	9,118	126	9,037	438	9,600	76	9,824	342	9,365
6	215	8,889	202	9,132	469	10,100	90	9,885	143	9,583
7	260	8,987	30	10,208	554	9,623	56	11,211	284	10,240

資料：財務省 通関統計による、単価はC I F価格である。

Source：The customs Bureau, Ministry of Finance

Remarks：A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000m²)

(Unit: 1,000sq.meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2021	1,279	839	586	9	244	298	90	208	143
2020 - 1	123	67	42	2	23	37	16	21	19
2	122	63	43	2	17	40	19	21	19
3	131	69	48	2	19	42	19	23	20
4	121	66	44	2	20	38	20	19	17
5	87	51	37	1	13	24	12	12	12
6	87	53	33	2	18	25	11	13	9
7	88	56	33	0	22	25	11	14	7
8	71	44	32	0	12	21	9	12	6
9	85	48	35	0	13	27	13	13	10
10	90	52	36	1	15	27	12	15	11
11	101	63	38	1	24	28	12	15	9
12	108	65	37	1	27	29	12	17	13
2021 - 1	90	56	38	1	18	25	9	16	9
2	95	59	40	1	18	26	10	16	9
3	98	57	43	1	13	30	10	19	12
4	106	64	50	0	13	29	11	17	14
5	109	71	48	1	22	27	11	16	11
6	123	79	51	0	28	29	11	18	14
7	109	69	52	1	16	29	10	19	10
8	97	58	46	0	12	27	10	17	11
9	111	70	53	1	15	29	11	18	13
10	118	75	54	1	20	28	11	17	14
11	131	89	54	1	34	29	11	18	13
12	133	93	57	1	35	29	11	17	11
2022 - 1	104	71	51	0	19	22	7	15	12
2	95	59	40	1	18	26	10	16	9
3	124	87	66	0	21	24	6	18	13
4	126	87	70	0	17	25	6	19	15
5	123	89	64	0	25	23	5	18	11
6	145	105	76	0	29	24	6	18	16
7	121	82	65	0	18	24	7	17	15

資料：(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

備考：1. 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

2. 絹織物生産数量の数量は2018年～2021年分までデータ補正がある。

Source: Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks: 1. Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

2. As for the production quantity of silk fabrics, data in the year between 2018 and 2021 have been corrected.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2021	1,279	105.4	153,627	99.5	12,321	113.5	303,511	116.6
2020 - 1	123	79.3	15,165	95.7	1,259	50.2	24,411	76.5
2	122	71.4	21,802	87.3	1,707	61.3	26,233	81.7
3	131	80.8	17,996	82.3	1,792	65.7	28,783	83.2
4	121	69.4	18,393	78.9	1,172	44.8	20,179	59.7
5	87	49.6	12,661	85.6	669	26.5	11,341	34.2
6	87	52.1	9,326	36.0	690	27.3	21,317	61.0
7	88	53.9	8,532	39.9	361	15.3	18,561	65.4
8	71	52.6	7,147	42.0	613	33.9	16,344	57.7
9	85	56.9	10,011	41.1	451	20.6	20,505	60.3
10	90	55.1	10,443	54.4	645	32.1	24,142	85.1
11	101	60.5	11,523	50.1	874	47.3	24,658	82.2
12	108	68.9	11,334	51.9	619	36.9	24,280	79.1
2021 - 1	90	73.3	9,930	65.5	773	61.4	19,619	80.4
2	95	77.5	11,810	54.2	910	53.3	20,969	81.0
3	98	74.7	11,526	64.0	1,129	63.0	26,690	92.8
4	106	87.5	14,265	77.6	755	64.4	25,705	129.1
5	109	125.0	11,586	91.5	952	142.3	24,566	215.7
6	123	141.4	13,201	141.6	870	126.1	29,082	136.5
7	109	123.2	14,672	172.0	938	259.8	24,811	133.7
8	97	136.0	10,040	140.5	1,072	174.9	24,161	147.8
9	111	131.0	13,545	135.3	1,092	242.1	24,360	118.8
10	118	130.9	15,194	145.5	1,038	160.9	26,324	107.9
11	131	130.3	13,557	117.7	1,463	167.4	26,748	108.5
12	133	123.2	14,301	126.2	1,329	214.7	29,272	120.9
2022 - 1	104	115.2	10,399	104.7	983	127.2	22,277	113.5
2	95	100.0	12,746	107.9	982	107.9	20,744	98.4
3	124	126.9	12,376	107.4	863	76.4	25,113	93.8
4	126	118.8	14,948	104.8	1,111	147.2	26,693	101.3
5	123	113.2	11,207	96.7	1,127	118.4	22,216	89.5
6	145	118.2	14,645	110.9	1,237	142.2	26,282	90.4
7	121	111.3	14,540	99.1	996	106.2	22,233	91.3
8			11,938	118.9	939	87.6		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計 (2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 1. 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

2. 2018年～2021年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by their local unions.

Remarks : 1. Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

2. The data in the year between 2018 and 2021 have been corrected.

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2015年	2016年	2017年
		トン	トン	トン
日本	Japan	135	130	125
中国	China	628,000		
インド	India	151,787	155,688	161,684
ウズベキスタン	Uzbekistan	27,237		
イラン	Iran	12,538		
タイ	Thailand	4,881		
ブラジル	Brazil	2,870	2,913	2,995
ベトナム	Vietnam	2,515		
北朝鮮	North Korea	937		
トルコ	Turkey	75		
ブルガリア	Bulgaria	65		
インドネシア	Indonesia	57		
シリア	Syria	3.0		
主要国の計	Total	831,100	158,731	164,804

区 分		2018年	2019年	2020年
		トン	トン	トン
日本	Japan	110	92	80
中国	China			
インド	India	185,560	185,143	169,345
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil	3,024	3,034	
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	188,694	188,269	169,425

注 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用し、2016年以降はデータが取れない。

Note Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).

Others than these countries,based on the data of International Sericulture , however, there is no data available since 2016 Commission (ISC).

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2022年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	118.25 ~ 130.00	2,247 ~ 2,470
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	134.25 ~ 147.00	2,551 ~ 2,793
3	玉繭(double cocoon)		104.00 ~ 114.00	1,976 ~ 2,166
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	128.00 ~ 140.50	2,432 ~ 2,670
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	373.50 ~ 387.50	7,097 ~ 7,363
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	379.75 ~ 391.00	7,215 ~ 7,429
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	387.50 ~ 397.50	7,363 ~ 7,553
8	玉糸(doupion silk)	110d	395.00 ~ 405.00	7,505 ~ 7,695
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	38.25 ~ 43.50	727 ~ 827
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	56.38 ~ 62.00	1,071 ~ 1,178
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	45.75 ~ 51.75	869 ~ 983
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	38.88 ~ 44.00	739 ~ 836

注:1元=19円

1 CNY=19 JPY

2022年6月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	122.60 ~ 137.40	2,452 ~ 2,748
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	138.40 ~ 156.80	2,768 ~ 3,136
3	玉繭(double cocoon)		106.40 ~ 116.40	2,128 ~ 2,328
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	130.00 ~ 142.00	2,600 ~ 2,840
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	406.80 ~ 427.40	8,136 ~ 8,548
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	411.00 ~ 426.80	8,220 ~ 8,536
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	406.00 ~ 416.00	8,120 ~ 8,320
8	玉糸(doupion silk)	110d	399.00 ~ 409.00	7,980 ~ 8,180
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	38.20 ~ 43.20	764 ~ 864
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	57.40 ~ 62.40	1,148 ~ 1,248
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	47.40 ~ 52.40	948 ~ 1,048
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	39.40 ~ 44.40	788 ~ 888

注:1元=20円

1 CNY=20 JPY

資 料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2022年7月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	124.25 ~ 140.75	2,485 ~ 2,815
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	139.50 ~ 165.25	2,790 ~ 3,305
3	玉繭(double cocoon)		108.25 ~ 117.75	2,165 ~ 2,355
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	130.00 ~ 142.75	2,600 ~ 2,855
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	417.25 ~ 435.50	8,345 ~ 8,710
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	422.25 ~ 435.25	8,445 ~ 8,705
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	413.75 ~ 423.75	8,275 ~ 8,475
8	玉糸(doupion silk)	110d	413.75 ~ 433.75	8,275 ~ 8,675
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.00 ~ 44.00	800 ~ 880
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.75 ~ 63.75	1,175 ~ 1,275
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.00 ~ 53.00	960 ~ 1,060
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.00 ~ 45.00	800 ~ 900

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

2022年8月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	127.00 ~ 143.20	2,540 ~ 2,864
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	141.20 ~ 169.80	2,824 ~ 3,396
3	玉繭(double cocoon)		105.40 ~ 116.80	2,108 ~ 2,336
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	129.00 ~ 148.00	2,580 ~ 2,960
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	418.40 ~ 438.40	8,368 ~ 8,768
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	423.60 ~ 440.00	8,472 ~ 8,800
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	418.00 ~ 429.00	8,360 ~ 8,580
8	玉糸(doupion silk)	110d	420.00 ~ 440.00	8,400 ~ 8,800
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.00 ~ 44.00	800 ~ 880
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	59.00 ~ 65.00	1,180 ~ 1,300
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.00 ~ 53.50	960 ~ 1,070
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.60 ~ 45.50	812 ~ 910

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<https://silk.or.jp>

シルクレポート 2022 年 10 月号 No.75 令和 4 年 10 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3511

URL : <https://silk.or.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず